

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

ロータリーの心で
友情を深めよう

高田ロータリークラブ
今年のスローガン

勇気と希望をもって、
煌めくロータリーを



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度

国際ロータリー会長

ゴードンR. マッキナリー

第2560地区ガバナー

米山 忠俊

高田ロータリークラブ会長

山田 守

幹事

吉田 巧

広報・会報・雑誌委員会：

細野仁・山本 陽・大島 誠・林 泰成

第 32 回例会 4 月 19 日(金)

No.32

会長挨拶 ●山田 守



私は漂流物が好きです。特に江戸時代、遭難し生き残った人たちの実話です。一年間に 150 隻もの船が遭難した記録があります。当時流通の要は海運でした。

例えば、越後から江戸へ米 1,000 俵を送るとします。1 頭の馬に 2 俵付けても 500 頭の馬がいります。船だとどうでしょうか。500 石積み船ですと 1, 250 俵乗せることができます。船員は 15 人程度でしょうか。

越後から日本海を南下し瀬戸内海を通り大阪経由江戸行きになります。難点は船の構造にありました。船体に比べて舵が大きく固定式でなく吊り下げ式でしたので破損し易く遭難の原因となりました。沿岸を走行することしか考えていないので、ひとたび嵐に遇うと外洋に流されてしまうのです。特に太平洋側での難破が多かったようです。

1720 年、遠州新居（静岡県湖西市）の船鹿丸が遭難し鳥島に漂着。鳥島は火山島で植物は殆ど無く川も無い。僅かな貝や海藻、アホウドリの肉を食べていました。数年のうちに 9 人が死亡、残ったのは 3 人です。

1739 年、江戸の宮本善八船 17 人が漂着。この小舟を修理し 20 人が八丈島に生還しました。



出席報告

出席率 98.08%

セレモニー



入会式：
宮下 敦君
株式会社みやした代表取締役
(再入会)

ニコニコ BOX 紹介

高橋幸治君：4 月 12 日に入会しました。どうぞよろしくお願いたします。

会員インフォメーション

国際奉仕委員会：台湾東部地震支援のお願い
飯塚会長エレクト：2024-25 年度委員会組織について
高田さくらロータリー衛星クラブ：清掃活動報告とお礼

委員会報告

山崎公一君：SDGs ふれあいフェス in 上越妙高のご案内
佐藤信明君：第 24 回お花とお茶と木のかほりのご案内

配布物：週報 31、2024-25 年度委員会組織表、
「第 24 回お花とお茶と木のかほり」チラシ、

卓話

なぜ今、「男性の育児休業」なのか？

認定 NPO 法人マミーズ・ネット理事長 中條美奈子様



平成 4 年の上越市の出生数は 983 人でした。昭和 55 年は約 2900 人でしたから、その三分の一となっています。日本全体の出生数も統計開始以来、最低でした。2030 年代に入ると、我が国の若年人口は現在の倍速で急減し少子化は歯止めの利かない状況になるため、この少子化のトレンドを反転させる最後のチャンスがこれからの 6、7 年だと言われています。政府が子ども未来戦略方針を閣議決定し男性の育児休業取得を促進している背景にも、この少子化の流れを何とかしたいという思いが込められています。しかし男性の育休取得に効果があるのかと感じている人も多いかもしれません。

子育ては女性の役割であるという思い込みがあるからでしょう。

実際、今の日本では家事や育児の負担は女性に大きく偏っています。そして女性の年収は男性に比べて低い傾向が続いています。若者たちが結婚、妊娠に踏み切れない原因の一端がここにあると言われています。今の大学生や高校生の多くは男女ともに、夫も妻も働いて収入を得て家事育児も分担していく家族を理想としています。

戦後、子育ては母親の役割とされ祖父母が助けるものでした。けれども年金支給が 65 歳以降となった今、祖父母世代の多くは現役で働いています。子育ては、子育て支援サービスを使いながら夫妻が協力して行うものとなっています。

これからも上越市が存続し活気あふれる街であり続けるためには、若い男女が希望をもって上越に住み続けてくれることが不可欠です。そのためにも、地域全体で男性の育児休業取得を積極的に応援する町であってほしいと願います。



出澤出席・ニコニコ BOX 副委員長
ニコニコ紹介



齋藤国際奉仕委員長
台湾東部地震支援のお願い



飯塚会長エレクト
2024-25 年度委員会組織について



高田さくらロータリー衛星クラブ
4/13 清掃活動報告と御礼

